

がくじん  
大町の岳人百瀬慎太郎は、  
あめつち す  
天地に続<sup>す</sup>ばる命を思い、  
ひ  
陽に向<sup>ひ</sup>かって言いました。

“ 山を想えば人恋し  
人を想えば山恋し ”

大町岳陽高等学校校歌付随 朗唱と背景音楽

朗唱句———百瀬慎太郎・仁科 惇

背景音楽作曲———飯沼信義

■この「朗唱」は日本近代登山の祖であり、詩人であり哲学者でもあった大町出身の岳人百瀬慎太郎（1892～1949）の遺した名言をもとに編まれたものである。校歌詩の精神に通底し、岳都大町市の「山岳文化都市」の理念の一端とも言える文言を朗唱することによって、校歌歌唱の表現が一層深まることを願って制作されたものである。

■音楽には校歌のモチーフが使われていて、校歌歌唱との一体感が図られている。楽譜に書き込まれた朗唱の詩句と音楽との関連はおおよそその対応を示すもので、厳密なものでは無い。語る者と演奏する者との阿吽の呼吸で自由に表現されることが望ましい。

■「朗唱」の扱いは全く自由である。すなわち、校歌歌唱の前後どちらでもよく、さらには省略されても一向にかまわない。その時々状況によって用い方が工夫されることが好ましい。また、校歌歌唱時に関係なく、別途、単独で用いられることがあってもかまわない。若い高校生の感性に浸潤し、豊かな情感の醸成に繋がる一篇となればと願うものである。

平成27年秋 仁科 惇